

Q

既存の弁類や継手の形状を編集してユーザー部材に登録したい

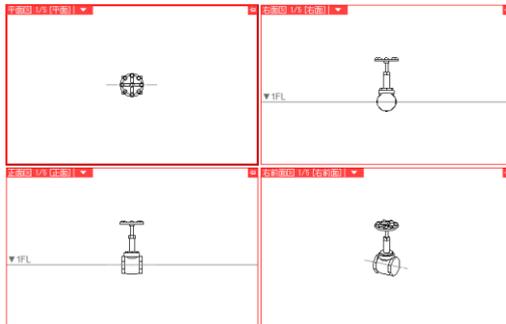
A

一度「ユーザー部材」に登録し、汎用図形に分解して編集後、再度登録します

「弁類」や「継手」などの部材の形状を編集する場合は、一度「ユーザー部材」として登録し、汎用図形に分解すると編集できます。

1

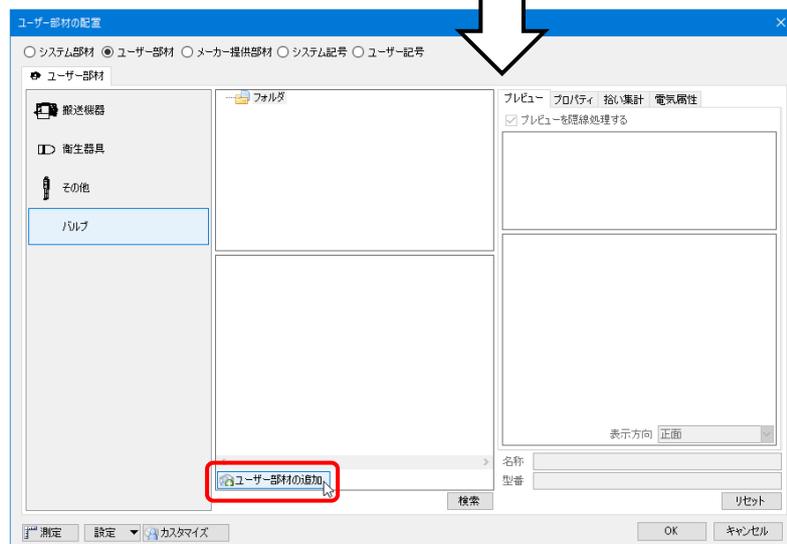
編集したい部材を図面上に配置します。



2

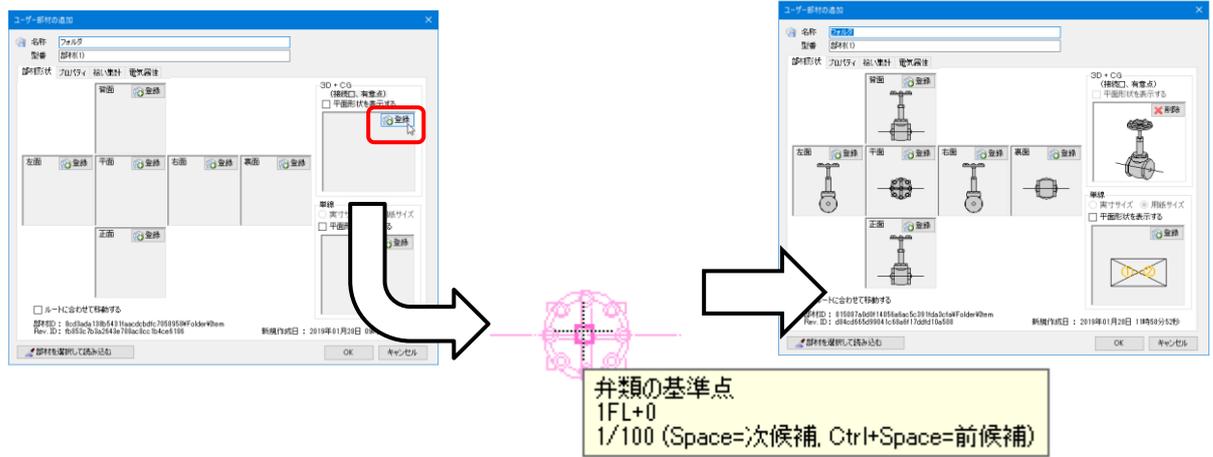
[機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。

[ユーザー部材の配置]ダイアログで部材を登録するタブとリストを指定し、[ユーザー部材の追加]をクリックします。



3

[ユーザー部材の追加]ダイアログで[3D+CG]の[登録]をクリックします。
配置した部材を選択し、右クリックの[確定(Enter)]後、基準位置を指定します。

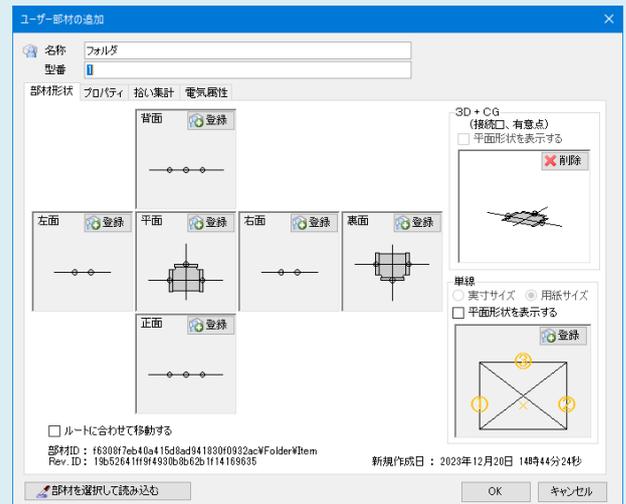
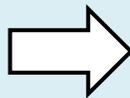
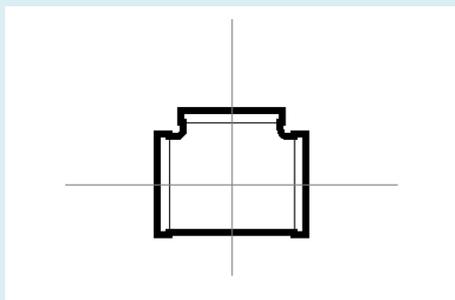


[ユーザー部材の追加]ダイアログの[OK]をクリックして登録します。

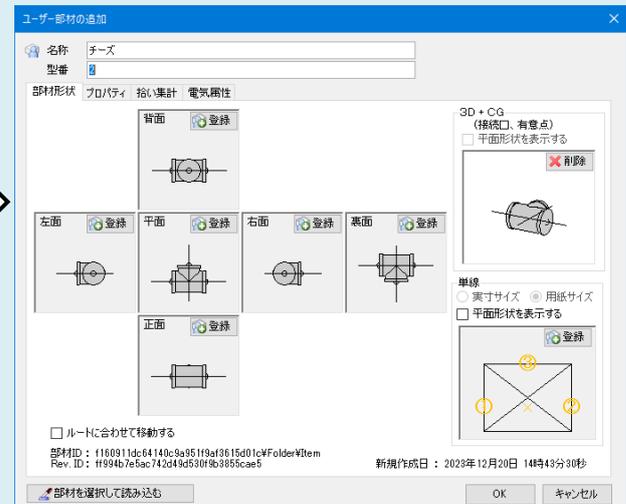
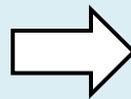
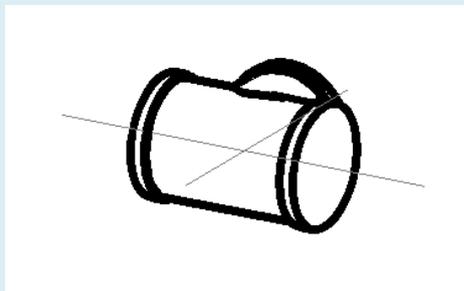
●補足説明

継手の中には視点方向が「平面」や「正面」でユーザー部材に登録すると 2D 図形のみが登録される部材があります。そのような部材は「右前面」などの斜め方向から表示した状態で登録すると 3D 図形が登録できます。

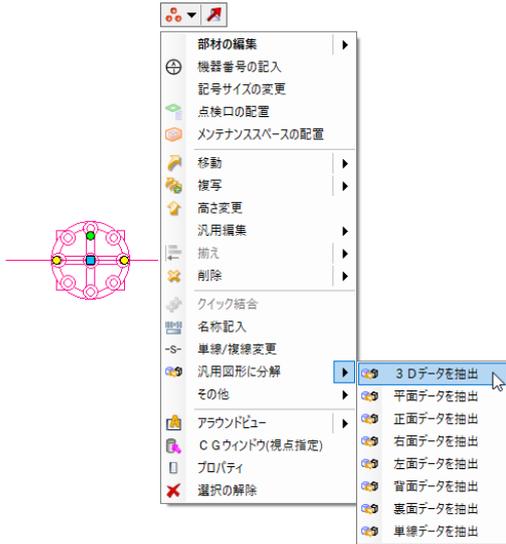
・視点方向「平面」で登録



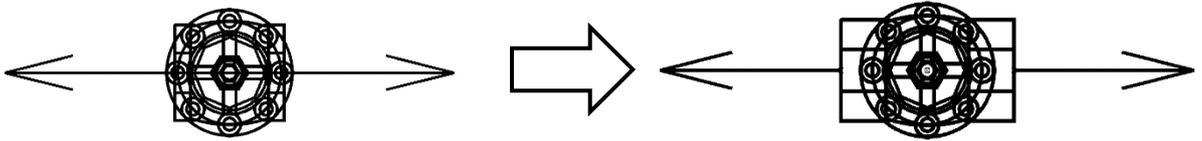
・視点方向「右前面」で登録



- 4 登録したユーザー部材を図面上に配置し、選択してコンテキストメニューを開きます。
[汎用図形に分解]-[3D データを抽出]をクリックします。

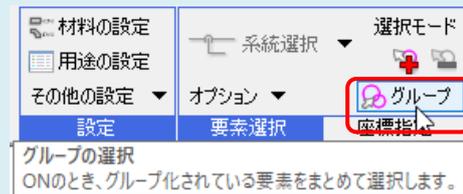


- 5 部材のデータがパーツごとに汎用図形として分解されます。
図形の形状を編集します。

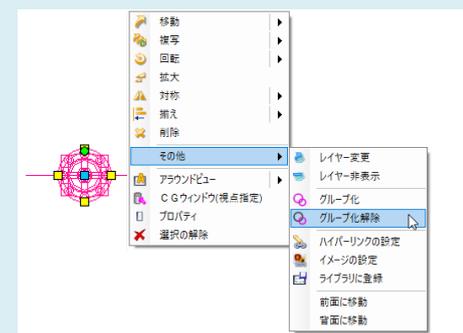


●補足説明

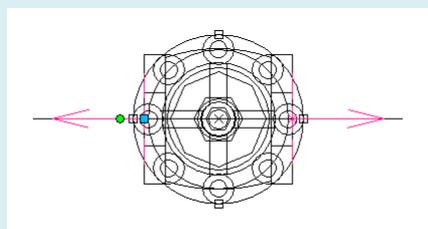
分解したユーザー部材はグループ化されています。
リボンの[要素選択]パネルの[グループ]をオフにすると、
グループ化されている状態で図形を個別に選択できます。



グループ状態を解除する場合は、要素を選択して
コンテキストメニューの[その他]-[グループ化解除]で
解除できます。



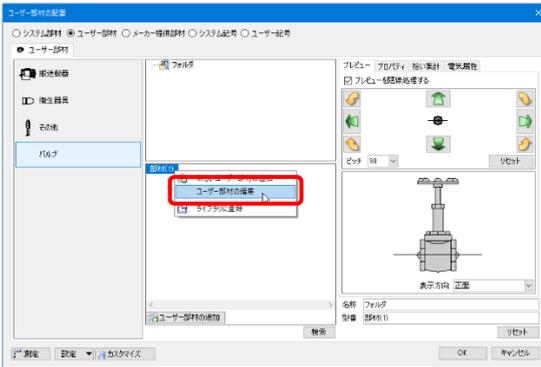
分解した図形の中にある矢印の記号は「ユーザー接続口」です。
「ユーザー接続口」はプロパティから「用途」や「サイズ」が編集できます。



6

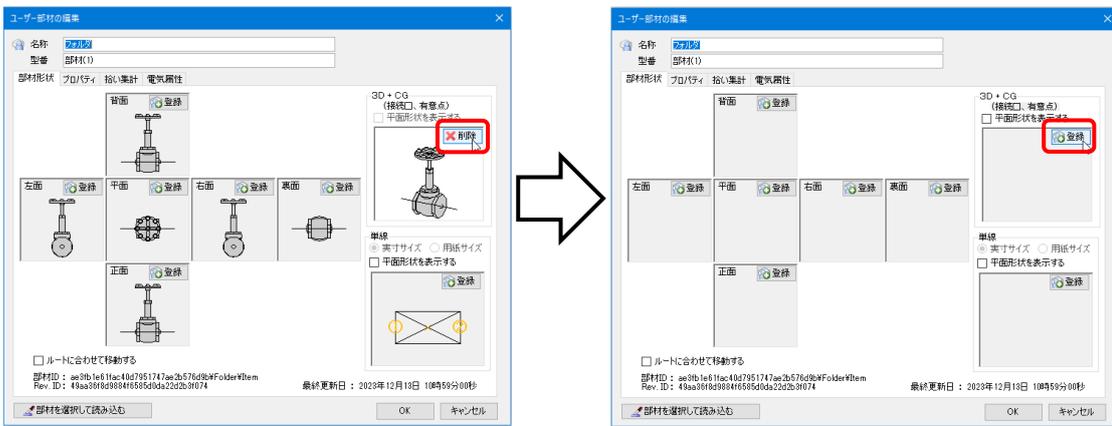
編集した図形を 3 で登録したユーザー部材の 3D 形状に登録します。

[機器器具]タブ-[ユーザー部材]から[ユーザー部材の配置]ダイアログを開きます。登録したユーザー部材を選択し、右クリックして[ユーザー部材の編集]をクリックします。



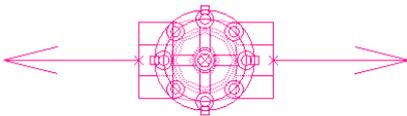
7

[3D+CG]の[削除]をクリックして現在の形状を削除し、[登録]ボタンをクリックします。



8

編集した図形を選択し、右クリックの[確定(Enter)]後、基準位置を指定します。名称や型番を入力し、[OK]をクリックしてユーザー部材に登録します。



[ルートに合わせて移動する]にチェックを入れると、接続したルートに合わせて部材が移動します。また、角度・勾配のあるルートに部材を挿入した場合、角度・勾配に合わせて部材が挿入されます。後からルートに勾配を付けると、部材も勾配にあわせて傾きます。



●補足説明

ユーザー部材として登録すると、要素の種類は「機器器具」になります。

ルート作図時に継手として作図することや、ルートに挿入する際にサイズを挿入先に合わせることはできません。

作図した立体図形や、システム部材を基にユーザー部材を登録する場合は、FAQ「[ユーザー部材を登録するには](#)」をご確認ください。

ユーザー部材についての詳細は、テクニカルガイド「[ユーザー部材](#)」をご確認ください。